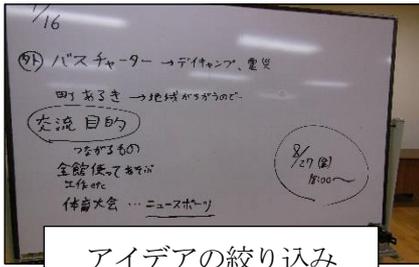


「八幡・通町の地域団体との企画会議」 柏木市民センター

1 事業概要

柏木市民センターは八幡地域と通町地域の上に位置しており、地域内には八幡小学校と通町小学校があります。この事業は、これまでに交流が少なかった両校のおやじの会が「市民企画会議」のメンバーとして連携・企画することにより、会員相互の交流や団体同士の連携の促進、それぞれの会における活動の活性化、地域住民が参画する企画講座の実施につなげていくことをねらいとしています。

2 今年度の活動



アイデアの絞り込み



実際に種目を体験



児童館でも盛り上がりました

昨年度からのコロナ禍により、子供を対象としたイベントが減ってしまったことを受け、「児童と保護者が一緒に楽しめることを企画しよう」と、八幡小学校と通町小学校のおやじの会と学校支援地域本部の方々の5名が企画員となり、企画会議を実施してきました。7月からスタートし、1月末の時点で4回実施しています。

7月の初回では顔合わせと情報交換の後、企画講座のアイデアを出し合い、検討した結果、参加者同士が交流できるものとして「ニュースポーツ体験会」の実施を目指していくことになりました。10月の第2回では、検討する上で、種目を具体的にイメージできないため、「実際にニュースポーツを体験してみよう」ということになりました。キンボール・バグゴ・ディスコンなどの種目を体験し、11月の第3回で、シャッフルボード・ラダーゲッター・カローリングの3種目に絞り込みました。12月には講座のタイトルやチラシの中身、配布時期など広報について検討を進めました。一方で、「低学年の児童ではうまくできないのでは？」と懸念された種目もあったため、八幡児童館の協力の下、実際に体験してもらったところ、低学年児童でも楽しむことができました。このように課題を一つ一つクリアしながら、ついに、2月5日（土）に「親子でチャレンジ in 柏木～みんなでニュースポーツ～」の実施を待つばかりとなりました。

3 成果と課題

この企画会がきっかけで、おやじの会同士の活動状況などの情報交換や参加していただいているおやじの会・会長や会員相互の交流につながりました。また、新型コロナウイルス感染症予防に最大限努めつつ、「どうすればできるか」を常に意識しながら検討を進めることができました。

今後は、団体同士の連携強化や活動の活性化をさらに進めていくためにも、新たな地域人材の発掘や育成に取り組んでいく必要があると考えています。

4 今後の展望

2月5日の実施を前におやじの会などで体験会の協力者を募り、新たな参加者を募って体験会の実施を目指しています。企画員や協力者の皆さんには事前に研修会を行い、当日のゲームの審判などを行ってもらう予定です。両おやじの会メンバーのネットワークがさらに広がっていくことが期待されます。

令和4年度も継続して、児童と保護者を対象とした講座を企画・検討していく予定です。